



大阪科学・大学記者クラブ 御中  
関西レジャー記者クラブ 御中

2019年11月19日  
大阪市立大学

## 理学部附属植物園

# ～高校生に伝えたい！バイオームはここが面白い！～ 「吉良竜夫生誕100周年記念講演会」を開催

大阪市立大学理学部附属植物園は、2019年12月22日（日）に「吉良竜夫生誕100周年記念講演会」～高校生に伝えたい！バイオームはここが面白い！～を開催します。

故・吉良竜夫名誉教授は、1949年より本学理学部にて植物生態学教授として教鞭を取り、活発な研究・教育活動を行い、理学部の発展に大きく貢献しました。日本のみならず世界中でフィールドワークを行い、森林帯の気候区分体系の解明と確立を行なうなど、多数先駆的な研究功績を残しました。また在任中3度、16年に渡り理学部附属植物園長を務め、本学植物園の日本産樹木見本園の復元展示に尽力し、独創的な植物園の基礎を作り上げました。

2019年に生誕100周年を迎えることを記念し、吉良名誉教授にゆかり深いバイオーム（気候的特性によって区分された地域に生息する生物群集の単位）について高校生向けに記念講演会を開催します。バイオームは高校理科の必修科目である「生物基礎」で扱う主たる履修項目です。本講演会では、「暗記もの」と捉えられがちなバイオームの背景にある“理屈”や、バイオームから広がる研究の世界を紹介します。脱暗記は、昨今の入試改革の根幹を成す考え方ですが、本講演会は高校生の脱暗記を促す契機となるものと期待します。本講演会を、ぜひ皆さまに広くご周知いただくとともに、取材についてご検討いただきますよう、よろしくお願い致します。



### 吉良 竜夫（きら たつお）

1919年大阪市生まれ。京都帝国大学農学部卒業。

1949年に植物生態学の教授として大阪市立大学理学部に着任。

日本各地、中国、東南アジアの現地調査を行い植物地理学の研究に取り組み  
温量指数を考案。森林帯の気候区分体系の解明と確立をさきがけて行い、  
日本の生態学のその後の発展の礎を築く。

1981年本学を退職。名誉教授の称号を授与される。

2011年7月19日91歳で死去。

- 開催日時 2019年12月22日（日） 13時00分～17:00（受付12時～）
- 場所 大阪市立大学 杉本キャンパス（最寄り駅：JR阪和線、杉本町駅）  
学術情報総合センター 10階 大会議室  
<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access>

- 3 対 象 一般（特に高校生・高校教員）
- 4 定 員 150名（事前申し込みが必要です）
- 5 参 加 費 無料
- 6 申込方法 <https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/event/2019/191222> に掲載の応募フォームよりお申し込みください。

7 プログラム

- 13:00～13:05 開会の挨拶
- 13:05～13:45 「日本の森林とその成り立ち」  
中静 透（総合地球環境学研究所 特任教授）
- 13:45～14:25 「地球の気温変動と日本の植生の変化」  
山田 敏弘（大阪市立大学大学院 理学研究科 教授  
理学部附属植物園 園長）
- 14:25～14:40 休憩
- 14:40～15:20 「『植生』という概念を生んだ熱帯の多様な植生」  
伊東 明（大阪市立大学大学院 理学研究科 教授）
- 15:20～16:00 「植物のオスとメスの話 多様で複雑な樹木の性」  
名波 哲（大阪市立大学大学院 理学研究科 准教授）
- 16:00～16:15 休憩
- 16:15～16:55 「乾燥大陸オーストラリアにおける針葉樹の適応と進化」  
阪口 翔太（京都大学大学院 人間・環境学研究科 助教）
- 16:55～17:00 閉会の挨拶

- 8 問い合わせ先 〒576-0004  
大阪市立大学理学部附属植物園 事務所  
TEL : 072-891-2059 FAX : 072-891-2101  
Email : [b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp](mailto:b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp)  
(問合せ時間 : 9時から17時30分まで)

**【本件に関する問合せ先】**  
大阪市立大学理学部附属植物園 担当 : 中野  
TEL : 072-891-2059

主催：大阪市立大学理学部附属植物園  
吉良竜夫生誕 100 周年記念講演会

# 『高校生に伝えたい！ バイオームはここがおもしろい！』

## 会場

大阪市立大学杉本キャンパス  
学術情報総合センター 10階 大会議室  
(最寄り駅：JR 阪和線、杉本町駅)

2019  
12/22 日

## 対象

一般（特に高校生・高校教員）

参加費  
無料

## 定員

150 名様（先着順）

お申込みはこちらのサイトから

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/event/2019/191222>

※ 締め切り：12月13日（金）



## プログラム

- 13:00～13:05 開会の挨拶
- 13:05～13:45 「日本の森林とその成り立ち」中静透 (総合地球環境学研究所 特任教授)
- 13:45～14:25 「地球の気温変動と日本の植生の変化」山田敏弘 (大阪市立大学大学院 理学研究科 教授)
- 14:25～14:40 休憩
- 14:40～15:20 「『植生』という概念を生んだ熱帯の多様な植生」伊東明 (大阪市立大学大学院 理学研究科 教授)
- 15:20～16:00 「植物のオスとメスの話 多様で複雑な樹木の性」名波哲 (大阪市立大学大学院 理学研究科 准教授)
- 16:00～16:15 休憩
- 16:15～16:55 「乾燥大陸オーストラリアにおける針葉樹の適応と進化」阪口翔太 (京都大学大学院 人間・環境学研究科 助教)
- 16:55～17:00 閉会の挨拶

問い合わせ先：大阪市立大学理学部附属植物園  
Tell：072-891-2059  
E-mail：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp